



男女共同参画推進事業者表彰

本市では、「仕事と家庭、地域生活の両立支援」「男女が共に働きやすい職場環境づくり」などに積極的に取り組む事業者を表彰しています。

受賞事業者の紹介

有限会社 大島商店 「お互いさまの心とチームワークで働きやすい職場に」



- ・事業内容 一般廃棄物処理業・再生資源卸売業
- ・所在地 那須塩原市笹沼262
- ・総従業員数 11人 (男性6人、女性5人)

代表取締役 大島 ^{みちぞう} 三千三さん

「奉仕の心で地域に貢献」をモットーに事業活動を続けて20年になります。私と社員との関係、また社員同士の関係が心通じ合う職場を目指し、お互いの立場を尊重しながら、社員の子育て環境や地域付き合いを理解し、仕事に打ち込んでもらえる職場環境づくりを推進して参りました。この度の表彰を受けて、社員みんなの協力に感謝すると共に、地域の皆様方には日頃より大島商店にご支援頂きます事に心より感謝申し上げます。

今後も、働きやすい職場、地域に愛される事業所として、社員と共に邁進したいと思っております。ありがとうございました。

渡部 ^{まさし} 雅さん (勤続10年)

子どもたちの用事や行事に合わせて休暇を取ることができ、周囲もそれを理解してくれるのでとても働きやすい環境です。

また、この会社は積極的に地域活動に参加しているのが特徴で、私も地域のお祭りに参加したり、那須塩原駅西口にイルミネーションを設置したりするなど、土日は地域に貢献しています。

- ◆「奉仕の心で地域に貢献」をモットーに地域活動への積極的な参加
- ◆PTA活動、学校行事等に参加のための休暇取得を奨励
- ◆子育て中の女性に配慮した柔軟な勤務体制の実施
- ◆職務上必要な講習会の実施、資格取得のための経費負担

株式会社 タカダ 「誰もが安心して挑戦でき

大きく成長できる職場に」

- ・事業内容 小売業(文具、包装資材の販売)
- ・所在地 那須塩原市五軒町6-12
- ・総従業員数 32名 (男性6人、女性26人 (うち非正規社員17人))



代表取締役 高田 修一さん

女性主体の職場なので、女性が働きやすい職場づくりを心がけています。具体的には、パート従業員も育児休業を取得でき、子どもの行事に合わせて休暇が取得しやすくなっています。また会社は人を育てていくことが使命なので、従業員には、男女問わずある程度大きなミッションを与え、乗り越えることで大きく成長してほしいと思っています。

これからも、お互いカバーし合い、従業員が長く働けるような会社を目指していきます。

益子 茜さん (社員4年、アルバイト4年)

男女や正社員、パートに関係なく、誰もがいろいろなことにチャレンジできるのが、この職場の特徴です。自分のアイデアが店頭ディスプレイなどに活かされるのでやりがいがあり、また、従業員同士がサポートし合っているので休暇も取得しやすく、仕事も生活も充実しています。今後家庭を持った場合も、休暇制度や職場環境が整っているため、ずっと仕事を続けていきたいと思っています。

- ◆男女の性別に関わらず意欲能力に応じた採用
- ◆管理部門への女性の登用、女性の職域拡大
- ◆出産・育児・介護休暇制度の整備、短時間勤務制度の導入
- ◆お互いにカバーし合える柔軟な勤務体制の推進

もくじ

- 男女共同参画推進事業者の紹介…………… 1ページ
- 高校生のボイスリレー 那須清峰高等学校編… 2ページ
- 栃木県次世代人材づくり事業研修の報告…………… 3ページ
- 栃木県からのお知らせ、公募について…………… 4ページ

高校生のボイスリレー

第8弾

次ページ

栃木県立那須清峰高等学校編

清峰生のアンケート

結果
抜粋

コン
セプト

男女が互いに認め合い、助け合う男女共同参画社会を実現するためには、若い世代が関心を持ちその意義を理解することが大切です。

今回は、専門分野を学び、将来に向けて様々な資格取得を目指す生徒22名に男女共同参画についてインタビューしました。

男子 17人 女子 5人

Q1 今の学科を選んだ理由と将来の夢

物作りが好きだから。夢は、自分の好きな溶接で生活していくこと。一流企業で働くこと

たくさんの資格が取れるから。将来、その資格を活かした職に就きたい



Q2 日常生活や学校生活でどんなことに「男らしさ、女らしさ」を意識しますか。

あまり意識していない

運動したときに体力の差を感じる

女性は作業が丁寧



Q4 結婚した場合、パートナーとはどのような関係を築きたいですか。

お互いに理解し合い、何でも言えるような関係

自分が得意なものは積極的に行い、パートナーとの役割分担を大切に、協力していきたいと思います

Q3 学校生活や今の日本社会は男女平等だと思いますか。

男女平等になりつつあると思う。安倍政権の成長戦略に社会の指導的地位に占める女性の割合を2020年までに3割にすると目標を設定しているから

平等ではない。女性は家事全般を行い、男性は働くという固定観念があり、そのような考えがなくなる限り平等とは言えないと思う



Q5 職業を選ぶとき、どのようなことを重視しますか。

安定、収入、自分に合う仕事

最初に長続きするように「好きなこと」を重視し、次に家庭を支えるために「収入」を重視する



Q7 家でどのようなお手伝いをしていますか。



Q6 高校卒業後、あるいは社会に出たら挑戦してみたいこと

結婚、自分の好きな仕事をする

不可能とされていることを可能に変えたい
積極的にボランティア活動に参加したい



Q9 土木や建設業界など一般的に男社会と言われている業界で働く女性に対してどのようなイメージを持っていますか。

女性でも、自分のやりたいことや合っている仕事ならやってもいいと思う

今まで男性だけの考えしかなかったところに女性が進出することで、今までになかった考えが生まれ、土木、建設業界が活性化されると思う



Q8 将来、家庭を持った場合、行うことベスト3!

- 生活するためにお金を稼ぐ (17票)
- 子どもの世話をする (15票)
- 食後の後片付け、食器洗い (11票)
- 日用品の買い物 (11票)

- 家計の管理 (5票)
- 家事全般(子育ても含) (3票)
- 親や祖父母の世話 (3票)

Q10 (男子生徒へ) 将来、子どもができたら、育児休暇を取得したいですか。

取得してみたいと思う。男性も育児に積極的に参加することで、自分の母親がどんな苦勞をして育ててくれたのか体験するのもいいと思うから

Q11 (女子生徒へ) どんな仕事に就いても、結婚、出産後も仕事を続けたいと思いますか。

続けたい。働いている方が、自分らしい気がする



地域で活躍する女性リーダーを目指して

栃木県では、地域に貢献する実践的な若者リーダー及び女性リーダーの育成を目指し、「栃木県次世代人材づくり事業」を市町と共同で実施しています。今年度、本市から女性リーダー育成部門に参加した2人に、研修を終えた感想を寄せていただきました。

- 研修期間
平成26年7月～平成27年2月
- 県外研修(日本女性会議2014札幌を含む)
平成26年10月16日～18日

「自分を成長させたい・・・」

菊池 和子 (関谷)



仲間に着付けをしてもらい、日本女性会議に出席しました。(菊池さん右から2番目)

応募動機は「今まで不安や失敗を恐れて行動が出来ずにいた自分自身を変えたい」ためでした。

次世代人材づくり事業では、講師の先生をはじめたくさんの方々との出会いから様々なことを学びました。レベルの高い講義や県内、県外研修、日本女性会議を通して、「その地域で活躍している人々が周囲の人々に影響を与えその影響力が人を成長させる」と感じました。また、グループワークでは「女性の自立」というテーマでたくさんの意見が出た中、なぜか私の知らない世界のようにも感じ、今までいかに地域社会に目を向けていなかったかということに気づかされました。仲間を納得させる話し方、まとめ方などは、私に足りないものは何かを考えるきっかけになり、これまでずっと自ら行動を起こすことに抵抗を感じていましたが、いつの間にか“私にも出来るかも”という意識が芽生えました。

「女性リーダーについて」

私たちが思っていた女性リーダー像とは、「仕事も家事も完璧にこなし、人をまとめる力すべて揃っている女性」というものでした。しかし、本当は完璧ではなく、特別な能力も必要なく、小さな経験を少しずつ積み上げ、気づいたらリーダーになっていたということだけなのです。「今自分ができることを一生懸命取り組み、たくさんの人に想いを伝え仲間と行動を起こす。1人の力は小さくても大勢のチカラは大きい」これがリーダーのあり方であり、県外研修で学んだことです。最後にこの研修に参加させて頂いたことをたくさんの方に感謝します。研修過程が終了してからが本番だと思いますので、学んだことは行動に移し、経験したことは若い世代へ引き継ぐ、そしてこれからも新しい自分に出会うため学び続けたいと思います。

「県外、県内研修に参加して」

菊池 千恵 (下永田)



日本女性会議にて

約半年間の研修に臨み、基礎から学ばせて頂いたことは、私にとって大きな収穫でした。

最も印象に残った日本女性会議2014札幌では、安藤哲也氏(NPO法人ファザーリング・ジャパンファウンダー)の「ワークもライフも子育ても!これからの男子の生きる道」という講演に参加しました。そこでは、「子育てできる時期は短いので、父親も積極的に関わらなくてはもったいない」と話されていて勉強になりました。

県内研修では、「お互い様で支え合う街の中の居場所」「なじみ庵」に伺いました。地域の高齢者が会員で、街の集える憩いの場や世代間交流の場を作っており、利用者さんたちはとても生き生きとしていたことが印象的でした。

また、会員の方の名言である、「年寄りだね、『キョウイク』と『キョウヨウ』が必要なの。」という言葉。教育と教養ではなく、「今日、行くところ」と「今日、用事がある」。いくつになっても行きたい場所がある、会いたい人がいる、人の役に立るといことは大切なことだと思いました。



「なじみ庵にて」(菊池さん右端)

「今後の活動に向けた目標」

大切なことは、今、自分に出来ることを一生懸命行う、そして出来ることを増やしていくことだと思います。目の前にあるものに「やってみよう」と挑戦し、さらに新しい「やってみよう」に出会うことを繰り返していこうと思います。今回このような機会を与えて頂いたことに感謝申し上げます。

募集

那須塩原市 男女共同参画審議会の委員

市の男女共同参画行政に広く市民の意見を反映させるため、男女共同参画審議会委員を募集します。

役割：市の男女共同参画の推進に関する重要事項や施策の実施状況について、調査、審議し意見を述べていただきます。

応募資格：

- ① 市内に在住し、平成27年4月1日現在満20歳以上の方
- ② 年2回程度開催される会議に出席し、積極的な発言をして頂ける方
- ③ 市職員または市の他の審議会等の委員でない方

募集人数：2名

任期：平成27年4月～平成29年3月（2年間）

報酬：市の規定により支給

募集締切：平成27年3月27日（金）

応募方法など、詳細については市ホームページをご覧ください。

問い合わせ：市民協働推進課 ☎ 0287-62-7019



栃木県からのお知らせ



「イクメンマーク」 が決定しました!

県は、男性の育児参加の促進や、「イクメン」に対する周囲の理解を深めることを目的に、マークと川柳を公募した結果、「子育て中のお父さんと子どもが大の仲良し」をイメージしたマークが選ばれました。あなたも「イクメン」を目指して、働き方、家庭での過ごし方を見直してみませんか？

**「イクメン・カジダン」*
という言葉を知っていますか。**



よく知っている	男子	29.4%
	女子	20%
聞いたことはあるが、よくは知らない	男子	64.7%
	女子	80%
全く知らない	男子	5.9%
	女子	0%

(高校生のボイスリレー～栃木県立那須清峰高等学校編～アンケートより)

*「イクメン」とは…積極的に子育てを楽しみ、自らの成長も楽しむ男性
「カジダン」とは…家事に積極的に取り組む男性

ママがダウン! 誰が家事をする?



作:miina 絵:daisuke

募集

平成27年度

みいな市民編集委員

「みいな」に載せる記事の取材や構成などを行います。あなたも「みいな市民編集委員」になって、自分のアイデアを活かしてみませんか？

応募資格 市内在住または市内に勤務している20歳以上の方、平日日中の編集会議（年20回程度）に参加できる方

編集委員期間 平成27年4月～平成28年3月まで（1年間）

募集人数 3名

募集締切 平成27年3月27日（金）

応募方法 ①氏名(ふりがな) ②性別 ③生年月日 ④住所 ⑤電話番号 ⑥職業 ⑦応募理由(100字～150字程度)を記載した書類を提出(様式は問いません。持参、郵送、ファックス、電子メールのいずれか)

問い合わせ・申込先 市民協働推進課

☎ : 0287-62-7019

FAX: 0287-62-7220



編集後記

さわやかな日差しが窓辺から差し込む我家のリビングに、シンビジュームやマラコイデスと色とりどりに咲き誇っている。もうすぐ咲くクンシランに「ありがとう」と一言声をかける。心がほっこり温かくなった今朝のことです。

編集委員/阿久津一志 櫻井敬子 平井あけみ 藤原磨衣子 星 明美 柳場美枝子
編集/みいな編集委員会 発行/那須塩原市企画部市民協働推進課
〒325-8501 栃木県那須塩原市共墾社108番地2 ☎0287-62-7019
Mail:kyoudousuishin@city.nasushiobara.lg.jp